

決算説明会

(2025年3月期 第2四半期)

2024年12月10日

株式会社T B K

(証券コード：7277)

説明内容

I. 2025年3月期 第2四半期 実績

II. 2025年3月期 通期見通し

III. 第15次中期経営計画進捗

【登壇者】

代表取締役社長：尾方 馨

取締役 常務執行役員：小林 正登

経営企画部長：佐々木 健太郎

I . 2025年3月期 第2四半期 実績

(1) 連結損益計算書概況



単位：億円

(参考)

科目	2025年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		増減	増減率	2023年3月期 第2四半期	
売上高	268.0		277.3		▲9.3	▲3.3%	262.1	
営業利益	0.6	0.2%	2.1	0.8%	▲1.5	▲70.9%	▲6.2	▲2.4%
経常利益	▲2.1	▲0.8%	3.5	1.3%	▲5.6	—	▲2.6	▲1.0%
当期利益	▲12.4	▲4.6%	▲0.6	▲0.2%	▲11.8	—	▲4.3	▲1.6%

《為替レート》	2025年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		変動率	2023年3月期 第2四半期	
タイバーツ	4.27		4.05		5.4%		3.79
インドルピー	1.83		1.71		7.0%		1.71
香港ドル	19.49		17.22		13.2%		15.73
人民元	21.07		19.46		8.3%		18.97
USドル	152.36		135.01		12.9%		123.15

(2) 地域別 売上高・営業利益

単位：億円

(参考)

	2025年3月期 第2四半期			2024年3月期 第2四半期			増減		2023年3月期 第2四半期		
	売上高	営業利益		売上高	営業利益		売上高	営業利益	売上高	営業利益	
日本	136.9	▲1.5	▲1.1%	145.4	▲0.5	▲0.3%	▲8.5	▲1.0	144.0	▲2.9	▲2.0%
アジア	84.0	3.4	4.0%	93.4	5.2	5.6%	▲9.4	▲1.8	87.5	3.3	3.8%
中国	16.6	▲0.5	▲3.0%	17.4	▲0.0	▲0.1%	▲0.8	▲0.5	10.0	▲4.0	▲40.0%
北米	30.3	▲0.5	▲1.7%	20.9	▲2.0	▲9.6%	9.4	1.5	20.4	▲3.3	▲16.2%
調整		▲0.1			▲0.5			0.4		0.7	
計	268.0	0.6	0.2%	277.3	2.1	0.8%	▲9.3	▲1.5	262.0	▲6.1	▲2.3%

- ・日本 : モデルチェンジ影響等により、前年比売上減。コスト削減等を進めるも減益。
- ・アジア : タイはローン審査厳格化等に伴う需要減により、前年比売上大幅減。
インドは北米からの生産移管による受注増により、前年比損益は良化。
- ・中国 : 景気低迷長期化により、前年より厳しい損益状況。依然として不透明な状況が続く。
- ・北米 : 水ポンプ主要製品をグループ会社(インド)へ移管。北米での生産を停止し、“生産の最適化”を実行。

(3) 製品別 売上高

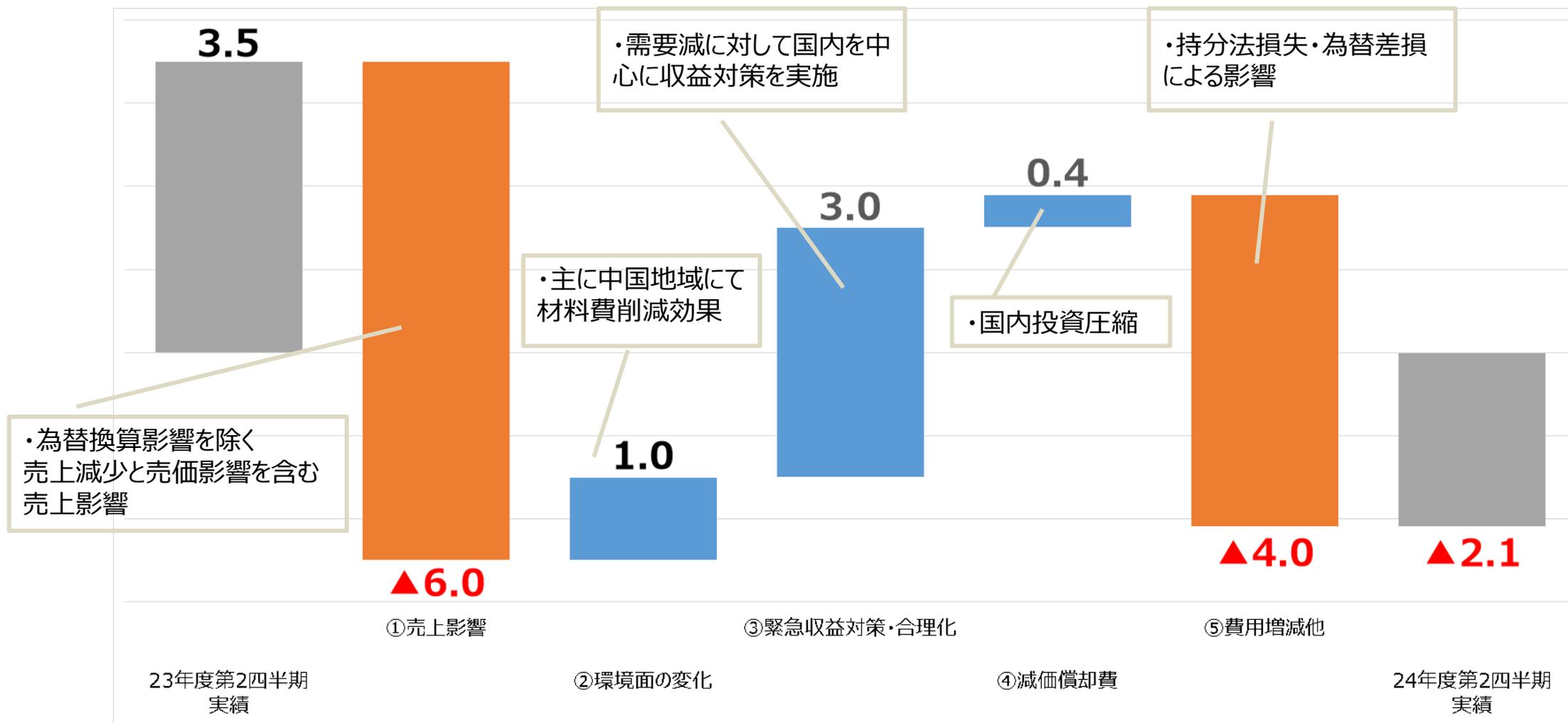
単位：億円

(参考)

	2025年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		増減		2023年3月期 第2四半期	
	日本	アジア 中国 北米	日本	アジア 中国 北米	日本	アジア 中国 北米	日本	アジア 中国 北米
ブレーキ	65.5	25.4	73.2	31.7	▲7.7	▲6.3	65.7	28.3
ポンプ	50.8	72.0	50.2	61.0	0.6	11.0	57.7	55.7
エンジン部品	7.0	30.9	7.1	34.7	▲0.1	▲3.8	7.8	32.6
その他	13.4	2.6	14.8	4.3	▲1.4	▲1.7	12.7	1.3
小計	136.9	131.1	145.4	131.9	▲8.5	▲0.8	144.0	118.1
計	268.0		277.3		▲9.3		262.1	

(4) 連結経常利益変動要因

単位：億円

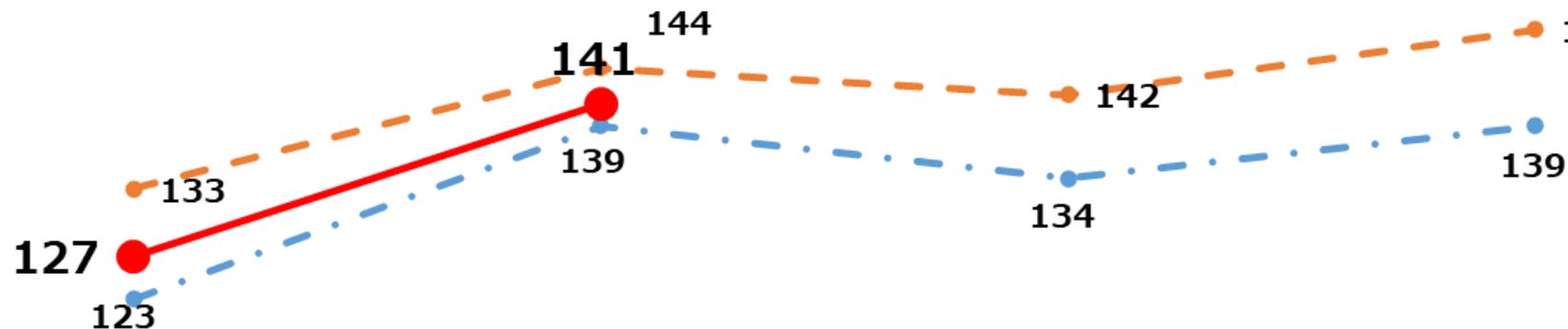


(5) 連結四半期別売上高・経常利益推移

売上高

単位：億円

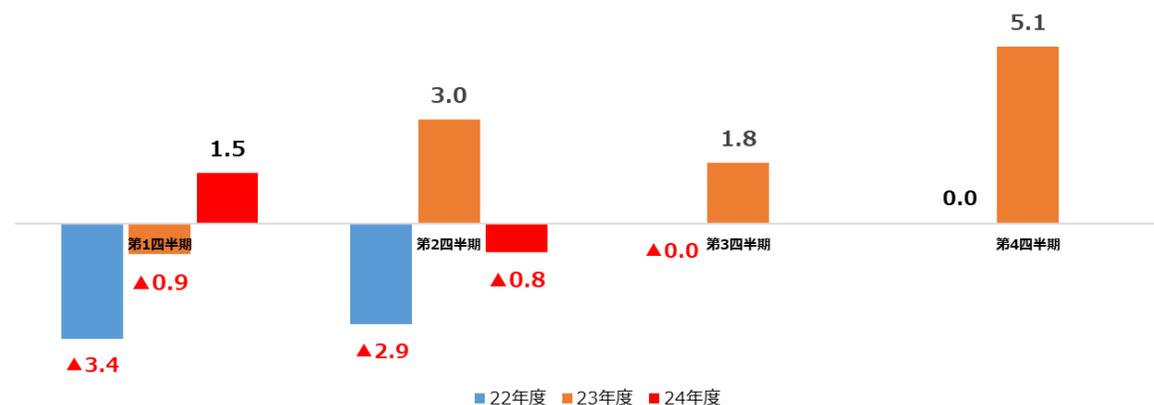
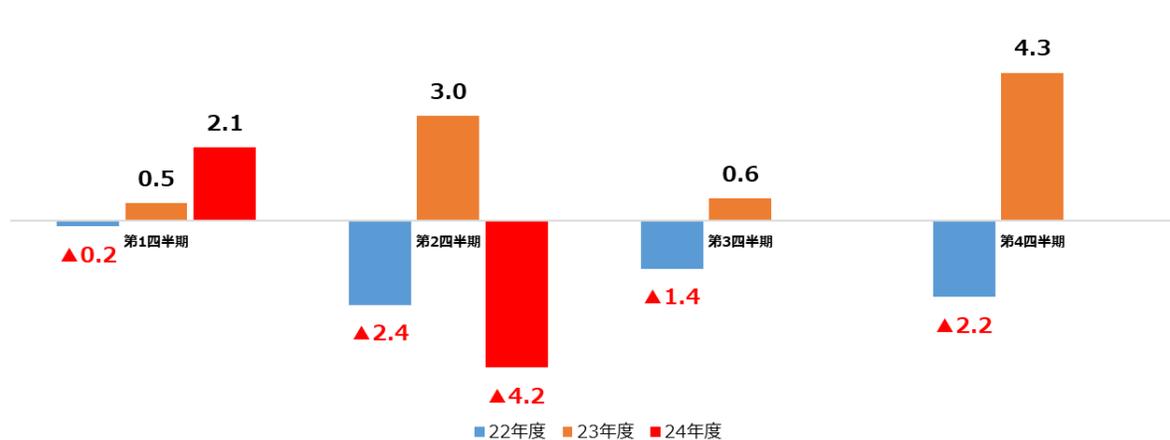
当期
前期
前々期



経常利益

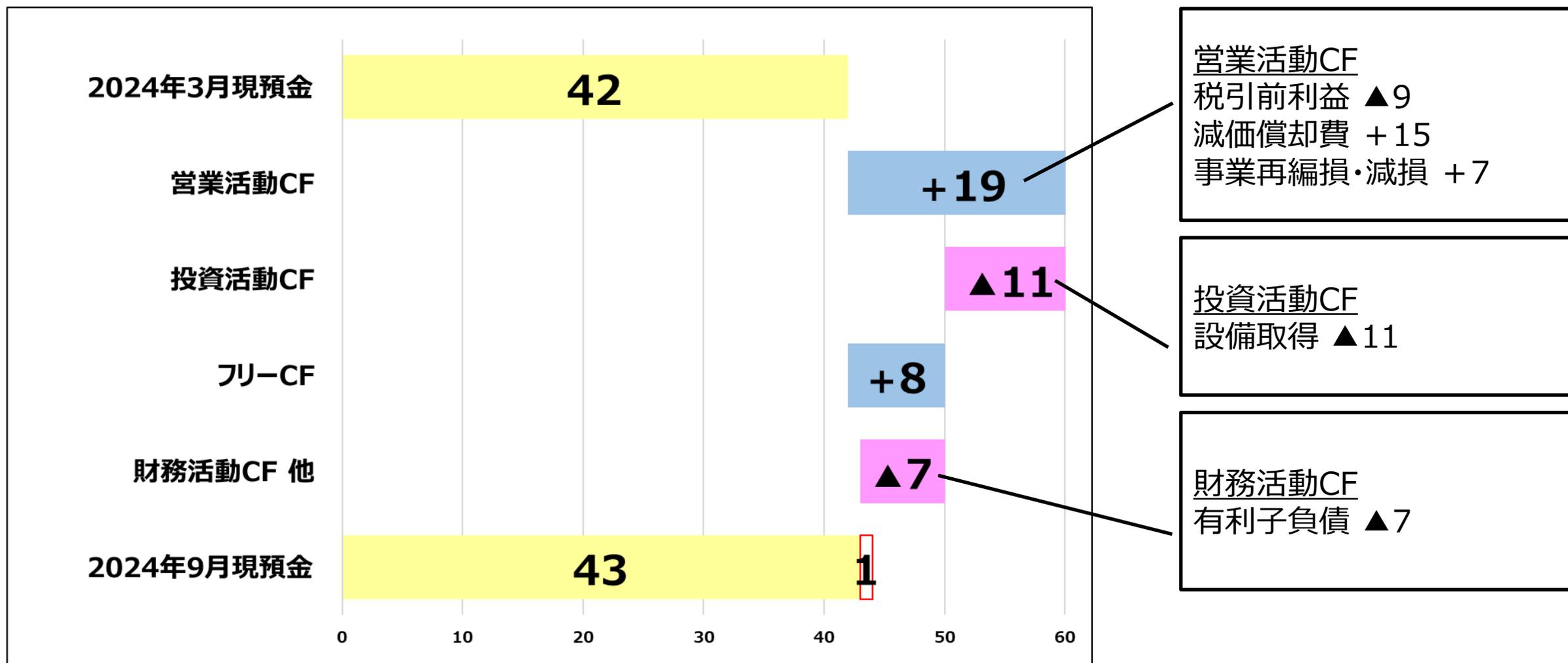
営業利益

※ご参考



(6) 連結キャッシュフロー計算書概況

単位：億円



(7) 連結貸借対照表概況

単位：億円

	当連結会計年度 (2024年9月)	前連結会計年度 (2024年3月)	増減
流動資産	274.6	290.7	▲16.1
固定資産	278.4	274.6	3.8
資産合計	553.0	565.3	▲12.3
流動負債	198.2	208.8	▲10.6
固定負債	64.8	62.9	1.9
負債合計	263.0	271.7	▲8.7
株主資本	218.1	231.8	▲13.7
その他包括利益累計額	64.0	54.1	9.9
非支配株主分	7.8	7.4	0.4
純資産合計	289.9	293.5	▲3.6
負債・純資産合計	553.0	565.3	▲12.3

売掛金 ▲11
棚卸資産 ▲3

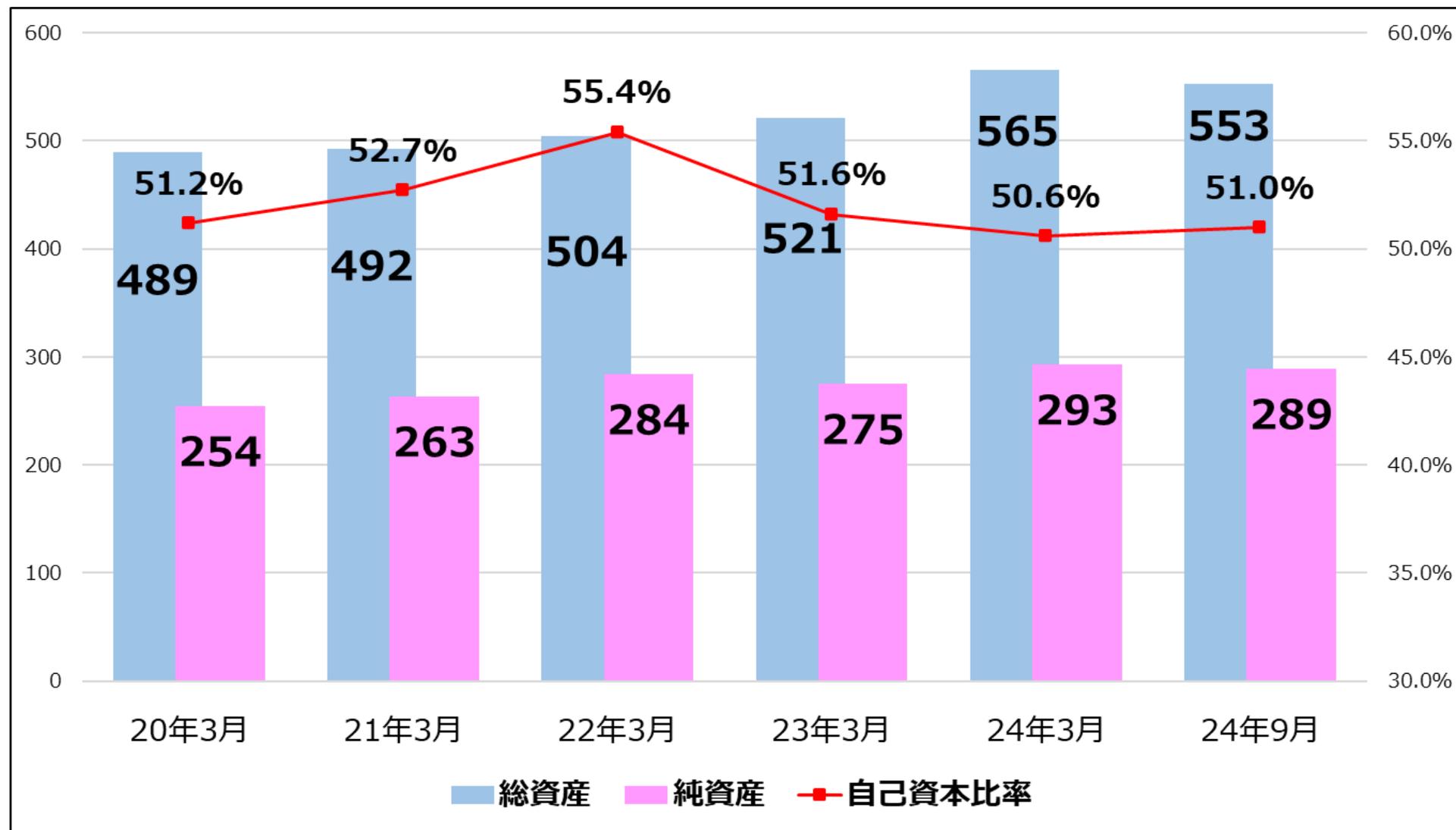
建設仮勘定 +3
有価証券 ▲1

買掛金/手形他 ▲8

為替換算調整 +10

(8) 総資産/純資産/自己資本比率推移

単位：億円



Ⅱ. 2025年3月期 通期見通し

(1) 2025年3月期 連結業績予想



(24年11月7日修正)

単位：億円

(参考)

科目	2025年3月期(予想)		2024年3月期		増減	増減率	2023年3月期	
売上高	540.0		566.5		▲26.5	▲4.7%	535.2	
営業利益	8.0	1.5%	9.0	1.6%	▲1.0	▲11.4%	▲6.2	▲1.2%
経常利益	2.0	0.4%	8.4	1.5%	▲6.4	▲76.2%	▲6.2	▲1.2%
当期利益	▲12.0	▲2.2%	3.3	0.6%	▲15.3	—	▲20.6	▲3.8%

	2025年度3月期 配当予想	2024年3月期 配当実績
1株あたり 配当金	8円	10円
配当性向	—%	85.6%
ROE	▲4.2%	1.2%

第15次中期経営計画期間内においては、従来の配当性向の目安である30%から10%引き上げ、配当性向40%を目安としております。2025年3月期の配当予想は、当初公表どおりの予想として据え置いております。

(2) 地域別 売上高・営業利益 業績予想

(24年11月7日修正)

単位：億円

(参考)

	2025年3月期(予想)			2024年3月期			増減		2023年3月期		
	売上高	営業利益		売上高	営業利益		売上高	営業利益	売上高	営業利益	
日本	289.0	1.6	0.6%	297.2	1.5	0.5%	▲8.2	0.1	295.3	▲4.2	▲1.4%
アジア	185.0	7.5	4.1%	192.4	10.0	5.2%	▲7.4	▲2.5	177.7	9.3	5.2%
中国	25.0	▲0.6	▲2.4%	35.1	▲0.6	▲1.7%	▲10.1	0.0	20.0	▲7.2	▲36.0%
北米	41.0	▲0.5	▲1.2%	41.7	▲0.3	▲0.7%	▲0.7	▲0.2	42.1	▲4.4	▲10.5%
調整					▲1.4			1.4		0.3	
計	540.0	8.0	1.5%	566.5	9.0	1.6%	▲26.5	▲1.0	535.2	▲6.2	▲1.2%

- ・日本 : 更なるコスト削減と価格転嫁の継続により下半期黒字化目標。
- ・アジア : タイ国内向けは市場停滞により需要低調続くが、新規拡販と新規立上品の収益改善で挽回していく。インド市場好調・生産移管影響により増収見込、自動化を推進。
- ・中国 : 中国国内の景気低迷と需要停滞が継続。中国拠点の生産体制の効率化を推進。
- ・北米 : 24年9月末生産停止。

Ⅲ.第15次中期経営計画進捗

2024年度通期業績目標値の引き下げについて

- 2024年度事業計画においては、国内事業の価格転嫁に加え社内外のコストの見直しを進めて経営目標の達成を目指しておりました。
- しかしながら、2024年問題に起因するトラックの買い控えや、タイの市場環境悪化状況を受けている現状況においては達成困難であるとし、計画目標値の修正を行いました。
- 下期におきましては更なる効率化とコスト見直しを進めて、持続的な収益を確保できる収益基盤の再構築を進めてまいります。

評価指標	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2025年3月期	
			2024年5月公表	11月修正
売上高	535億円	566億円	540億円	540億
営業利益	▲6億円	9億円	10億円	8億
営業利益率	▲1.2%	1.6%	1.9%	1.5%
ROE	▲7.5%	1.2%	1.4%	▲4.3%

米国生産拠点の生産停止について

- 2024年7月31日「米国子会社主要製品のインドでの生産開始に関するお知らせ」にて公表した通り、当社連結子会社である TBK America, Inc.（以下、TBKA）において、米国における主要製品の生産停止を決定しました。これにともない2025年3月期第2四半期決算にて、減損損失 148 百万円、事業再編損 609百万円を特別損失に計上いたしました。
- TBKAで生産していたウォーターポンプの主要製品はTBK India Private Ltd.（インド国 マハラシュトラ州、代表取締役 Ujjwal Kirloskar）へ生産移管しました。生産体制の構築は順調に進んでおり、既に量産を開始しております。
- 今後も企業価値向上に向けた当社グループの収益力の極大化を目指し、引き続きグローバルな生産の最適化に注力して参ります。

採算状況の可視化、PowerBIの活用

採算性改善に向けて、採算管理を改善しています。
全体、個別の採算性を可視化することで、容易に状況を把握できるよう向上を図ります。
採算悪化要因を各工程に分解して解明に努め、収益力の強化を目指します。



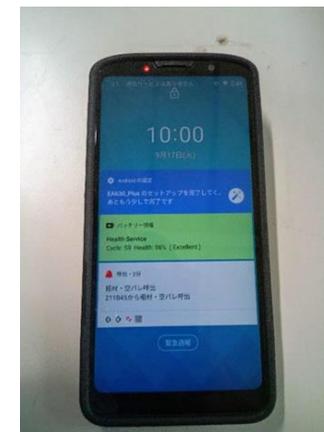
納品受付の無人化

従来は有人で受付するところから始めていた納品業務を、無人化及び重複業務を削減することで効率化を推進致します。



棚卸し業務の改善

従来は担当者の目視により行っていた棚卸し業務を、スマホとモバイルプリンターを用いて業務の平準化と確認漏れを解消します。
作業に際しては専用アプリを自社開発しています。



Daimler Truck Supplier Summitへ参加しました

全世界のダイムラーのサプライヤーの中から選出された上位200社のサプライヤーが招待されるイベントに、TBKはダイムラーの子会社である三菱ふそうのサプライヤーとして参加しました。



※ドイツ カールスルーエの街並み



※会場の様子

e-Axle搭載EV車の試乗会を開催しました

十勝試験場へお客さまをお招きし、「e-AXLE」の試乗会や「電動エアコンプレッサ」を搭載した大型トラックを実走しながら開発活動を進めております。

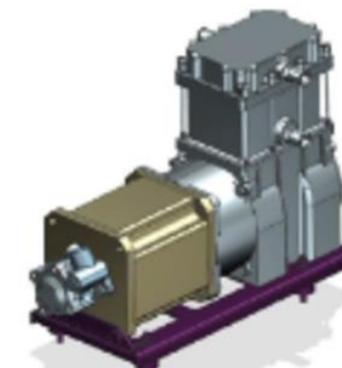


※e-AIXLE



e-AIR Compの量産を開始しました

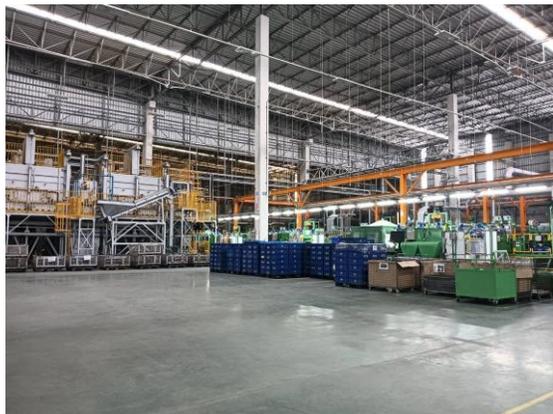
富晟TBKが開発した電動エアコンプレッサの量産を開始しました。EV試作車へ搭載し実走を行い、お客さまへのマーケティングを行っております。



※e-AIR Comp

TBKグループ初「アルミ鋳造製品」を量産開始しました

当社の連結子会社 TBKK (Thailand) Co., Ltd. の新工場において、IHI Turbo (Thailand) Co., Ltd.様向けのアルミ重力鋳造製品の量産を開始しました。タイにおけるアルミ重力鋳造事業の量産化を実現しました。



※TBKK新工場のGDC設備



※ITT様向けコンプレッサハウジング ASSY

お客さまを訪問し展示会を実施しました

本年度も商用車メーカー様、産業用機械メーカー様に於いてTBK製品展示会を開催しました。多くのお客様にご来場頂き、当社の将来製品と製造技術に関して活発なコミュニケーションの機会となりました。



※画像は展示会のイメージとなります

株式会社日本政策投資銀行の環境格付で「環境配慮活動が先進的」との評価を取得



「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューです。

長年培ってきた鑄造・加工技術を活用したモノづくりをはじめ、新時代に向けた電動化ソリューション開発にも力を注ぎ、循環型社会に貢献する企業を目指しております。



ブリケットマシーンの導入

鑄物事業の精製過程で生じる106 t /年の切粉を再利用する機器を導入しました。
(削減効果 ▲4,240千円/年)



本資料ご説明にあたっての注意事項

- **本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。**
- **実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。**